

# 迎春

# 国 労 ち ば

国鉄労働組合  
千葉地方本部  
発責 加藤 晃一  
編集 高橋 弘幸  
【電話】  
JR 2930 FAX 2934  
NTT 043(238)5963

2023年新春号

## 組織拡大を展望し諸課題の改善へ



加藤委員長



**新たな意欲を持てる社会を**  
組合員の皆さま、ご家族の皆さま、新年あけましておめでとうございませう。

皆さまにおかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、人生100年時代が近づいていると言われている。

60歳で定年退職の時代はもう過去のことでしょうか。働く事の意味、それは生活の糧だけではありません。健康で楽しく働く事で生活にメリハリが生まれ、生き生きとした向上心

も生まれます。価値観が多様化している現代社会は、とても生きづらいつ時代になったと言人もいますが、世のため人のために、もうひと花咲かせようと、新たな意欲で果敢にチャレンジできるような社会にならなければ人生100年を謳歌する事はできません。

### 労働者のための働き方を

JR東日本会社は「変革2027」という経営方針のもとで「業務改革」「働き方改革」そして「職場改革」の3つの改革を強く推し進めています。

またJR貨物会社は「グループ中期経営計画2023」の考え方に基づく、より一層の効率化施策が想定されています。

「心豊かな生活」を支えるのは、心身ともに健康でいなければならぬこととは言うまでもありませんが、夢や希望を持ち続けられる、そんな退職後の暮らしを迎えられるよう、会社で唱える「変革」や「働き方改革」ではなく、国労らしく労働者のための「働き方の更なる改善」を職場から勝ち取ることが重要です。

今春闘は、労働組合にとってこれまで以上に重要な春闘となります。コロナ禍で疲弊した経済をどう立て直すのか、経営者は従業員とその家族を守る義務があることから、短

期間の決算に一喜一憂することなく、労働者を守ってこそその経営者と自覚させる、そうした春闘にしなければなりません。

JR5万人の社員とグループ会社の社員、家族の生活がかかっている春闘、国労の存続をかけた闘いがそこにあります。

### 未来にはばたく運動を

また、職場に伝統ある国労運動をどう残すか、それができる組織体制を作ること、かつ地域との連携を継続しながら、地方の公共交通をどう維持向上させるための取り組みに、なっていくのかなど、多くの課題が山積していることから、組織拡大を展望しながら、一つ一つの課題解決に組合員が丸となって総団結する1年としましょう。

結びに、皆さまのご多幸をお祈りするとともに、国労運動が未来にはばたく輝かしい年になることを祈念し、年頭のあいさつとします。

本年もどうぞ宜しく  
お願いいたします。

## 本年もよろしくお願ひします

執行委員長	加藤 晃一
執行委員	長越 川夫
執行委員	北嶋 幸夫
執行委員	中嶋 福利
執行委員	高橋 英二
執行委員	佐川 弘幸
執行委員	北村 正則
執行委員	飯村 智之
特別執行委員長	松田 優一
特別執行委員	宮田 秀樹
特別執行委員	鈴木 負一
特別執行委員	鈴木 浩
特別執行委員	賀木 将
特別執行委員	野村 康裕
特別執行委員	石橋 裕

### 国労千葉地方議員団

いすみ市議会議員 元吉 栄一

国鉄労働組合千葉地方本部

## 拡大分会長会議

日時：2023年1月14日(土)13時～  
場所：千葉県教育会館本館604号室

## 拡大地方委員会

日時：2023年3月4日(土)13時～  
場所：千葉県教育会館本館303号室



# 鉄道退職者の会 千葉地方連合会

## 副会長 水野文雄



あけましておめでと  
うございます。

新型コロナウイルス  
感染症がまん延しつづ  
あります。各種会議、  
集会など思うように出  
来なくなっています。  
感染予防対策をしっか  
り行いましょう。

私たち、鉄道退職者

の会は社会保障制度の  
改善、年金制度の改善  
要求の実現、地方公共  
交通の充実など、こう  
した課題に引き続き取  
り組んでいきます。

政府は「原発を新増設」  
しないと云っていたの  
に、たった3ヶ月で方  
針交換をしました。「原  
発の再稼働」「運転期間  
の延長」「新増設」です。  
原発再稼働阻止、再  
生可能エネルギーへの  
政策転換と脱原発社会

の実現を求め大衆闘争  
を取り組んでいきます。

交通共済は2023  
年7月に「こくみん共済  
COOP」への移転に向  
け「新たな共済活動」に  
向けて準備を図ります。

今後、書面や資料が  
配布されますので、理  
解して頂き、加入をお  
願ひします。

自民党政権を倒さな  
い限り、真の平和と民  
主主義は守れません。  
新春の統一地方選挙戦  
には、組織内候補、推  
薦候補の当選に向けて  
取り組んでいきます。

鉄道退職者の会・会

# 国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議

## 議長 坂本雄一郎



未来に向けて、あら  
ためて150周年を振  
り返りつづ...

新しい年、皆様がこ  
の拙文を読まれる時が  
どのような状況下にあ  
るのか、今回も全く予  
想が付きません。

3年前、新型のウイ  
ルスにより顕在化した、  
この国の抱える様々な  
問題にもかかわらず、  
7月の参院選はあのよ  
うな結末に至りました。

2022年、各メディア  
から美術館まで、様々  
な角度から鉄道開業1  
50周年を取り上げて  
いましたが、存在感を  
示したのは、周年を祝  
福するかのように、前

員は高齢化が進み、減  
少してきています。

長年の課題である各  
地区に支部体制を発足  
させ、会員の意思統一・  
拡大の取り組みが大事  
です。

今後も、国労千葉地  
本と連携を密にして取  
り組んでいきます。

国労組合員・ご家族  
皆様のご健康とご多幸  
を心よりお祈り申し上  
げ年頭の挨拶とします。

# 共闘

# 中央ろうきん千葉支店



田中京平さん

あけましておめでと  
うございます。

日頃より《中央ろう  
きん》をご利用いただ  
きましてありがとうございます。

昨年9月より国労千  
葉地本の担当になりま  
した田中と申します。

新型コロナウイルス

感染症は一時期落ち着  
きを見せたものの、再  
び感染者数が増加傾向  
にあり、まだまだ予断  
を許さない状況に不安  
を感じる組合員の方々  
もいらっしゃると思  
います。

《中央ろうきん》で  
は、生活支援のための  
ローンや将来不安を払  
拭するための資産形成  
のご相談等を承ってお

表し、それらを受ける

かのように、国土交通  
省の有識者会議は特に  
利用状況が厳しい路線  
について、最長でも3  
年以内に存廃の結論を  
出すことを促す提言を  
まとめました。路線単  
体の赤字を理由とした  
廃線を示唆するかの如  
くです。

人口減少や流出を止  
める術は、容易には見  
出せませんが、地域の  
再生や活性化のために  
も、巨額の内部留保を  
有する会社や民営化を  
進めた国は、ここにも

英知を傾けるべきです。

世界を揺るがせてい  
るユーラシア中西部の  
問題を奇貨として、軍  
備増強や原発新増設な  
どに舵を切ろうとして  
いる岸田政権、支持率  
は低下しているものの、  
様々な調査から政権交  
代はまだ厳しい状況に  
あると言えます。

生きていく上で一番  
難しいのは、諦めない  
ことです。この社会に  
はびこる不合理をわず  
かながらでも改善して  
いくために、共に頑張  
りましょう。



ります。お金に関する  
お悩みがありましたら、  
ぜひ《中央ろうきん》  
へご相談ください。

皆様の豊かな生活の  
ためのお役に立てるよ  
う全力でご協力させて  
いただきますので、今  
後ともよろしくお願ひ  
致します。  
中央ろうきん千葉支店  
担当 田中京平





# 子供の頃、昭和のお正月



元国労千葉地本委員長 櫛尾智

幼い頃のお正月はその時嗅いだ匂いや肌感、覚みたいなものまで記憶しているものです。

小学校まで十弗（とおふつ）で過ごしていましたが。とうの昔に無人になった国鉄十弗駅にも当時は駅員が沢山いました。父は保線分区で働いていました。国鉄職員とその家族が参加する春の花見では飲み潰れてリヤカーで運ばれる大人が毎年いたものです。



十弗駅

国鉄官舎はありましたが、木造の粗末な我が家に住んでいました。大きい地震が来たら倒壊しないかと子供ながら心配していました。そこに祖母と父・母と私の4人家族。

零下30度の冬になる前に全ての窓や隙間を風や雪が吹き込まないようにするためにじーニールで覆っていました。それでも雪が家の中に入る場所もありました。トイレはもちろん、ポットン便所です。

## 新年を迎える

毎年12月30日、自宅を餅をついていました。その日の朝、目覚めると熱で真っ赤に焼けた石炭ストーブでもち米を炊いていて、寒さのなかでもそこだけが蒸し暑いような状態になっていました。

母は割烹着で慌ただしく動き回り、飲んだくれて普段は家にいたら何もしない父もこの



日は、何かと落ち着かない様子で準備をしているのがわかりました。

## 白い湯気の向うは

積雪の玄関先で臼のなかに炊きあがった餅米が入ると向こうが見えなくなるほどの真っ白い湯気が上がります。父が杵でこねながら、母との餅つきが始まるのです。祖母が出来上がった餅を丸めたりしていたように思います。新しい年を迎える準備です。

普段食べられない秋アジ、ハタハタの飯寿司などなど。ミカンを木箱の箱買

いするのがお正月。寝るときはその箱を毛布で包んでおきます。凍らせないために。

そして下の方にあるミカンのいくつかは必ず腐ったりカビが生えていました。

だからといって、店にクレームなどつけません。ミカンはそういうものだから。

## 子どもの頃の記憶

ご近所さんで生まれた猫を貰い受けただけど、名前はなんて付けたかな？野良犬が居座って「プースケ」って付けたのは覚えてるけど。ある時から行方知れずになったなあ。

亀も飼ったし、青虫が蛹になってモンシロチョウを羽化させたときは嬉しかったなあ。

## 記憶の引き出し

昨日の晩飯のおかずは思い出せないのに、子供の頃のことは次々と思い出していくのは、脳にある思い出し引き出しは若いほうが頑丈に出来ているのだろうか。

正月から思い出した子供の頃の昭和という取り留めのない話でした。

2022年1月15日 第35回「財」国労会館千葉地区労働講座



# 写真で見る 2022年

説る 伝コす 闘完

2022年3月8日 2022年春闘勝利千葉県総決起集会

2022年9月23日 第76回定期地方大会

2022年11月19日 木更津分会統合大会

2022年5月27日 「みどりの窓口廃止反対」小見川駅頭宣伝行動

2022年5月14日 安全とサービスを守る職場実態討論集会



# 運協定期委員会開催

12月7日、運輸協議会は千葉地本会議室にて2022年度定期委員会を開催した。

議長に選出された茂原分会篠原委員が議事を進めた。

石井議長は「組織拡大が進まない反省ばかり。今後、職協の在り方の方向性が示される



だろう」とあいさつ。

参加した委員からは、慢性的に乗務員が足りず休勤が増えている。

▼退職者が出ても補充がなく年休が入らない。

▼人身事故では警察・消防共に早期運転再開を考慮しないため時間がかかる。乗務員への配慮が欲しい。

▼今年エルダーになった社員は母親の具合が悪いため自宅近くの日勤駅を希望したが、一番遠い駅に配属された。

▼駅構内への入場について問題あり、IC入場券を含めすべて杓子定期に入場券を購入させられない場面もある。

# 分会大会

## 津田沼分会

12月14日、津田沼駅最寄りの船橋市東部公民館において開催した。

討論では◇職場の若い社員は、組合の存在すら知らない。要員不足で勤務がきついが、職場の管理者は対策を講じない◇パート労働者は立場が弱い。会社



鴨川運輸区分会

12月14日、鴨川市内において開催した。大会終了後は、OBの人たちと忘年会を開いた。

新役員体制  
分会長 小川一彦  
副分会長 福山清和  
書記長 吉田孝

# 鉄道退職者の会 千葉地方連合会総会



12月10日、鉄道退職者の会千葉地方連合会は、国労千葉地本会議室において、第50回定期総会を開催した。

憲法9条を守らせ、平和・反核の取り組み強化、新たな共済活動への準備を図る、組織

▼車イス対応が多く、早朝の一人勤務時に6分の差での乗降対応での強化・拡大、来たる統一自治体選挙での推薦候補の必勝へ奮闘する活動方針が石橋幹事より提起され、全体の拍手で承認された。

- 新役員体制
- 会長 土井 章
  - 副会長 水野文雄
  - 副会長 青柳庸弘
  - 事務局長 寺尾 勉

◇組合掲示板が欲しい(現在東船橋駅にしかない)。一時金の情報など掲示すれば組合の存在もアピールできる。などが出された。

新役員体制  
分会長 鈴木 浩  
副分会長 市川 薫  
書記長 川島正範  
川崎義博

**住民の足を守る  
2・16集会**

2月16日(木)18時～  
千葉市民会館  
第1・第2会議室



# 蘇我運輸区分会

12月19日、蘇我駅最寄りの蘇我コミュニティセンターにて開催した。

新役員体制  
分会長 竜崎好暢  
副分会長 醍醐 栄  
副分会長 飯高聡明  
書記長 鈴木富士夫

# 訂正

国労ちば2589号「12月1日号」の1面の木更津分会大会で誤記がありました。

★「大会議長に館山保線の加藤さん」は「大会議長に木更津分会の加藤さん」が正当。

★新役員体制の書記長「山崎一男さん」は「駒 清美さん」が正当。

大変ご迷惑をおかけいたしました。

# 平和を守る千葉県集会

12月9日、国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議主催の「千葉県平和集会」が



千葉市民会館にて開催された。主催者を代表して坂本議長があいさつし、続いて来賓の社会民主党、新社会党、日本共産党よりあいさつ、立憲民主党からのメッセージが紹介された。

「戦争につながる軍事費増額反対！今こそ命と暮らしへのテーマで菱山南帆子さん(許すな！憲法改悪市

民連絡会事務局長)が「敵基地反撃能力のことが『反撃能力』というが真珠湾攻撃のようなことを再びやること。先に攻撃したら戦争になるが、その後どんな惨事になるか。敵を作らない外交で軍隊を持たず国内の教育に力を入れるコストリ力はいい国だ。戦力不保持の憲法を持ちながら巻き上げた税金を軍事費につぎ込み軍拡を企てる日本とは大違い」と講演した。